

記入日：令和2年7月28日

所在地（都道府県/市町村）：愛知県名古屋市		
法人名：社会福祉法人名古屋厚生会		
施設・事業所名：名古屋厚生会館セルプ	担当者名：長谷川 葉子	
事業種類：就労継続支援B型		
主たる障害：知的	令和2年3月末現在 定員： 30人	
TEL:052-551-1988	FAX:052-551-2697	E-mail:hasegawa@758kousei.jp

① 令和元年度までの主な取り組み内容

<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング作業（ホームクリーニング、ユニホームクリーニング） ・航空機ヘッドホンのクリーニング作業 ・リネンサプライの企業での施設外就労（利用者3名、職員1名） ・ウエス作業
--

② 施設・事業所における新型コロナウイルスの影響

<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言及び在宅就労、コロナ禍における新しい生活の仕方で、ホームクリーニング、ユニホームクリーニングなど激減する。 ・航空機ヘッドホンのクリーニングは航空機が飛ばないことからゼロの状態になる。 ・施設外就労が、ホテルリネンの減少に伴い、施設外就労の日数の減少が徐々に始まり、4月11日から休みが始まり、現在も休みの状態が続いている。 ・感染リスクを避けるための在宅利用や通勤時間をずらすなどの対策により、不安定になる利用者がいた。

③ コロナ下において新たに始められた取り組みの内容

事例タイトル：クリーニング下請け作業
<p>取り組み内容：</p> <p>検診センターの検診衣のクリーニング、入院患者のネットクリーニング、入院患者の入院セットなどの下請け作業</p>

④ ③の取り組みを始めたきっかけ・工夫した点

クリーニング品の激減や、ヘッドホンクリーニングはゼロとなり、施設外就労も企業の業務状況により通勤は止まっているため、営業・開拓し、紹介を受け新たに始めることができた。

⑤ 取り組みの効果（売上や顧客、利用者、職員、地域等における効果）

- ・減少した売上の回復になるよう取り組んでいく。
- ・衣類のたたみ・結束作業などは、これまで難しかった利用者の方が生き生きと取り組めるようになる。

⑥ ③の取り組みを開始するにあたり新たに導入した生産設備・備品（経費・財源）等

結束機（新古品）1台
運搬用ワゴン車のキャスター修理とカバーの購入

⑦ 今後の課題・展望

これまでは病院関係先とはご縁がなかったが、今後新たに取り入れ、実績を上げることで地域の中や近隣の病院等との関係を構築しながら、新たな作業を開拓し、低下している工賃を元に戻すことで、利用者の「はたらく・くらす」を支えていきたい。

▼入院セット



▼検診衣



▼ネットクリーニング

